

やまぐち元気生活圏づくり 『白木半島地区コミュニティ協議会』



伊崎・地家室・佐連・沖家室・大積・小積の6自治会（人口約400人）及び各種団体等の参加と協働により、地域づくりの母体となる白木半島地区コミュニティ協議会が、4月21日に設立されました。

著しい人口減少と高齢化率68%という地域ではありませんが、日本最大規模の群生を誇るニホンアワサンゴを始めとした豊かな自然環境、そして歴史と文化を活かし、地域住民が当事者意識を持って、移住者を含めた新たなコミュニティづくりに頑張っていたきたいと思います。

『夢プランの作成へ 向けて』

毎月、地域づくり計画策定委員会を開催することになっており、5月25日には佐連会館で講演会、6月28日からは出雲市への先進地視察が実施され、関係自治会の全世帯には、今年度、地域将来計画「夢プラン」の配布が予定されています。

『夢プランの実践』

住民の暮らしを支援するため、地域住民による活動組織を設置し、生活環境の改善等、早期着手を必要とするものは事業が実施される予定です。

なお、地家室地区では古民家を改修したサテライトオフィスの開設が予定され、また、空き家を大規模に改修した宿泊施設では地域交流が始まっています。

周防大島町が抱える一番の課題に正面から向き合い、そして地域づくりのモデルとなつて、この取り組みが町内全域に広がり、今後の移住定住促進につながるよう期待しています。

